

# 後援会 便り

Vol.2  
2021.3.20



(2021年2月1日撮影)

## 【ご挨拶】

副学長 押木利英子

### 新

潟では近年まれな豪雪もようやく溶けて、待ちに待った新緑の春の兆しをあちこちに感じる季節になりました。学生の服装も軽やかで清々しさあふれる校内です。いよいよ新学期です。

学期です。

思い返せば一年

前のちように今頃、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全面休校を余儀なくされました。

その後、授業を開始しましたが、学生の健康状態確認、学内施設の感染症予防対策、Web 授業環境整備等に忙殺されました。大学では、全国のコロナ状況が変化するたびにコロナ対策会議を開催し、本学の方針を出し続けました。学生さんもその都度、その状況を理解し、不便な学

習を克服してくれました。地方の、規模の小さい大学だからこそ、情報が行き届き、安全で小回りの利く対応ができ、比較的早い段階からハイブリット型の授業が開始できたと思います。慣れない Web 配信授業は学生さんにとって不利・不安かと案じていましたが、昨年末の学生さんからの意見聴取では、「Web 教材はいつでも何度でも見直すことができよかった」「Teams 会議は相手と対面していない分、意見が言いやすい」等、意外な効果が聞けてほっとしました。不便な面もたくさんあったことは確かですので、二〇二一年度はその改善に努めます。

社会も大学も「新しい生活」が求められています。保護者の皆様には何かとご心配もおありのことと思います。必要があればいつでもご連絡をください。参考にさせていただきます。学生の学びと成長のために尽力いたします。しかしながら、まだまだ先行き不安な社会情勢です。保護者の皆様にはお力添えをいただきますよう改めてお願い申し上げます。

## 学生 の 声



### 【110110】

どんな年でしたか】

理学療法専攻三年

佐藤 樹

### 今

年度は新型コロナウイルスの影響もあり、従来の対面講義ではありませんでしたが、オンライン講義形式で勉強に励むことができました。オンライン講義は繰り返し視聴ができるという利点があり、理解をより一層深めることができました。また、対面講義になってからは友人と勉強することが増え、お互いに高め合うことができました。

次年度も新型コロナウイルスに負けず頑張っていきます。

作業療法学専攻三年

木村俊介

**今**年は新型コロナウイルス感染症の影響で、とてもはや

い一年に感じました。前期は自粛が続きオンライン授業が本格的に始まり、慣れない環境での勉強が大変でした。また十一月には一か月間の評価実習もあり、患者様とのコミュニケーションや評価について実際の臨床の場で様々なことを学ぶことができました。新しいことがたくさん起こり忙しい年になりましたが、人として成長することができたと思います。

言語聴覚学専攻四年

谷山綾音

**今**年は新型コロナウイルスの影響で、総合実習の中止や学校への登校が出来ず講義や検査の練習等は出来ませんでした。しかし、グループ学習等で同専攻や他専攻の学生同士で相談しながら学習を進めていくことが多くあり、様々な意見や視点を聞くことが出来、とても良い経験になりました。

私は自分の意見を伝えることが苦手でしたがグループ学習では自分から発言できることも多くあり成長できた年だと感じました。

リハビリテーション心理学専攻三年

伊藤美千香

**令**和二年はコロナ禍でやりた

い年でした。しかし、自分と向かい合い挑戦したいことや将来について考える時間が増えたため、前向きに考えれば今後の行動をより良くするための準備期間だったのかもしれない。辛いことばかり考えていてはさらに辛くなってしま

【二〇二一

こんな年にしたい】

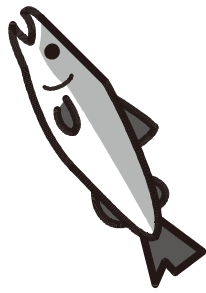
理学療法学専攻三年

成田歩実

**令**和三年度は、四年生になる

年です。大学生活が最後で重要な年になってきます。今年度

は、新型コロナウイルスの影響で何もかも制限された年でした。次年度もまだまだ制限され、不自由な生活が続くと思いますが、総合実習、卒業研究、国家試験に向けて勉強を行い、環境のせいにはせず、悔いのない年にしたいです。また、少しでも早く新型コロナウイルスが収まるように感染対策をしつかり行い、体調を崩さず頑張っていこうと思います！



作業療法学専攻三年

緒形沙雪

**来**年は四年生になり、大学生

活最後の年になります。来今までは以上に変な年になると思います。実習ではこの三年間で学んだ勉強や患者様との関わり方を活かして、充実した実習生活を送れるようにしたいです。国家試験ではこれまでに学んだ知識をフル活用し、困った時にはみんなと支え合って全員で合格を目指します。

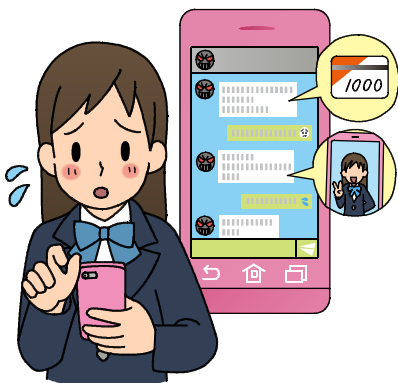
最後に、大好きなこの学年みんなと笑顔で卒業できるように頑張りたいと思います。

リハビリテーション心理学専攻二年

霜鳥なつほ

**令**和三年は、私にとって大学

生活の折り返しの年になります。明確な目標を持ってそれを達成できるような年にしていきます。具体的には「専門的な学びをさらに深め、それをアウトプットする」です。心理学の知識やスキルは日常生活で応用できることが沢山あると思います。それらを意識的に生活の中でアウトプットすることで学んだことを自分のものにし、楽しく充実した一年にしたいです。



# お知らせ

## 【令和二年度 第二回役員会議事報告】

開催日・令和二年十月三十一日

会場・本学サロン教室

参加者・杉山会長、一ノ瀬副会長、矢澤副会長、高橋、佐藤、星野、大矢、大滝

### ■議事①大学近況説明

・感染症拡大に伴う本学の行動指針について（佐藤）

・講義の実施状況について（大滝）

・学生会活動状況について（星野）

・学生支援状況について（大矢）

※感染対策下での学外実習などについて質疑あり。令和二年度の文科省からの特別措置（学外実習の不足分を学内実習に代替可、国試受験要件を満たすものとする）、及びオンライン講義の実施状況について説明した。

■議事②今年度予算の運用状況  
・十月時点での収支について報

告。

■議事③今年度今後の予算運用  
・今年度学生会行事などが開催されていないことから、使用予定金額に余剰を生じている。

※学生に平等に使用するという考えに基づき、新たな使途として図書購入、近隣コンビニでの金券配付などを提案、承認された。余剰金については次年度繰越とした。

### ■議事④令和三年度方針

・後援会総会は学園祭日程にあわせる。感染症拡大状況によっては書面開催もあり得る。

・会計年度は四月から三月とし、役員交代は六月総会時とする。

・保護者より運営委員を選出していく。

### ■その他

登校禁止期間中の学生の家庭での様子、学生会の活動状況、今後の実習の実施に関する見通しなどについて情報交換を行った。

今年の冬は突発的な大雪で、学生さんも通学に苦労したと思います。学内駐車場にも例年になく高い雪山ができました。

（二月一日撮影・表紙写真も）

## 学 こんなの買ったよ!



食の電子レンジがここしばらく不調だったので、昨年十二月、役員の皆様にご理解いただき、後援会予算で新しいものを寄贈しました。寒さが厳しくなってくる中、学生に少しでも温かいものを食べてもらいたいと思います。ありがとうございました。

## リハ大の活動紹介



### 【新潟リハビリテーション大学の保健室紹介】

こんなことを行っています

保健室 向田怜史

### 小 学校・中学校では馴染み深い「保健室」ですが、大学

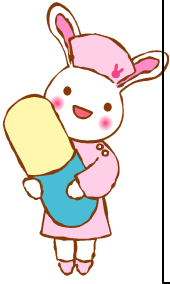
においても学校保健安全法第七条により「学校には、健康診断、健康相談、保健指導、応急処置その他保健に関する措置を行うため、保健室を設ける」とあります。

当大学の保健室は、看護師一名、精神保健福祉士及びカウンセラー二名が在室しています。

保健室には休養できるベッドがあり、体調不良が起きた時は、休むことができます。学内での突然のケガや、様々な症状に対して応急

処置を行い、治療が必要な場合は、救急要請や近隣の医療機関の紹介もしています。状況に応じて、受診時の付き添いにも同行しています。気になる症状や心の悩みなどがあれば、相談にも応じています。また、大学敷地内にはクリニックを併設しており、診察や処方、加えて医療系の実習が必要となる予防接種や抗体検査など、学内で授業の合間に利用することが出来ます。その他、四月と六月に「学校保健安全法」に基づき、定期健康診断を全学生対象に実施しています。都合で集団検診を受けられない場合、個別に日程調整を行い、健康診断を受けてもらっています。健康診断により自分の健康状態の情報を得ることや、病気の早期発見と予防に役立っています。

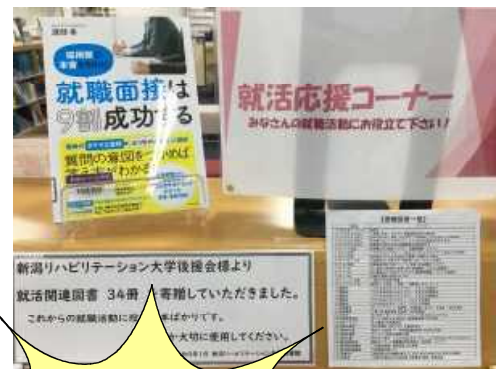
コロナ禍で生活様式が様変わりする中、スタッフ一同、学生の皆さんが心身共に健康で安心した学生生活を過ごすことができるように、関係部署と連携し、様々な支援を提供していきたいと思っています。



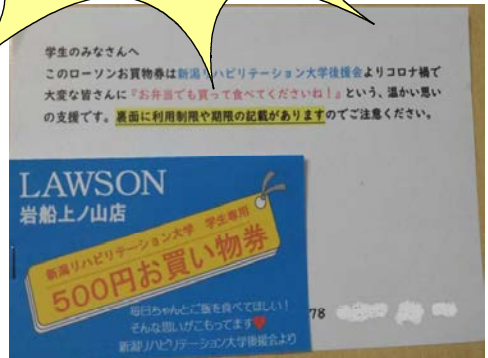
一月二十日に言語聴覚士国家試験が東京で、二十一日に理学療法士、作業療法士国家試験が仙台で実施されました。それぞれ前日に大学をバスで出発し、事故もなく無事に帰ってくる事ができました。どちらも感染に最大限注意しての受験となりました。結果発表は三月下旬となりますが、これまでの努力が実る結果となることを祈っています！

理学療法士  
作業療法士  
言語聴覚士

令和2年度国家試験に行ってきました!



トピックス  
&  
トピックス



大学に隣接しているローソン岩船上の山店にご協力いただき、全在生に五百円のお買い物券を配布しました。ローソンの中でも、同店でのみ使用できる金券です。コロナ渦の中、後援会から学生への生活支援とともに、地域とも協力していきたいと思えます。

また、図書館へ約五万円相当の就職関連図書を寄贈いたしました。是非今後の就職活動に活用してもらいたいと思います。

### 編集後記

令和二年はコロナに翻弄された一年でした。世の中は未知なるウイルスに戦々恐々、不安から来るトラブルが起きたこともありました。しかしながら本学では、適時学長から発信される行動指針に従うことで学生・教職員とも意思統一がなされ、パニックやトラブルなく落ち着いて一年を過ごすことが出来ました。まだまだ予断は許さず、保護者の皆さまのご心配はいかばかりかとお察しいたしますが、今後ともどうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。  
(大滝陽子)